

令和 4 年 8 月 10 日

四国地方整備局 徳島河川国道事務所
西日本高速道路株式会社 四国支社
徳島県

E55 徳島南部自動車道 開通後の交通状況等について

令和 3 年 3 月に開通した徳島沖洲 IC^{おきのす}～徳島津田 IC^{つだ}、令和 4 年 3 月に開通した徳島 JCT～徳島沖洲 IC の交通状況と効果についてお知らせします。

【整備効果】

効果 1：並行する国道 11 号で最大 9%、徳島環状線で最大 13%の交通量が減少

効果 2：混雑時間帯における並行する道路の渋滞損失時間が最大 5 割減少し、道路利用者も効果を実感

効果 3：臨海産業拠点から鳴門 IC 間の所要時間が半減、企業立地を促進

効果 4：関西方面等の市場への所要時間短縮、定時性向上により地域ブランド品の価値向上に貢献

効果 5：災害時の緊急輸送路の確保・新たな津波一時避難場所を 3 箇所整備

【徳島南部自動車道の月平均日交通量】

区 間	R3. 6 月平均日交通量	R4. 6 月平均日交通量	増 減
徳島 JCT～徳島沖洲 IC	—	3,000 台/日	—
徳島沖洲 IC～徳島津田 IC	5,700 台/日	9,200 台/日	61%増

※月平均日交通量については、土日祝を含む値

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

【発表先】徳島県政記者クラブ、高松経済記者クラブ

問い合わせ先（◎は主な問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長（道路） 山本 健司（やまもと けんじ） TEL：088-654-2211（代表）

◎道路調査課長 横田 直紀（よこた なおき） TEL：088-654-9624

NEXCO 西日本 お客様センター TEL：0120-924-863

徳島県 県土整備部

道路整備課 阿部 学（あべ まなぶ） TEL：088-621-2555

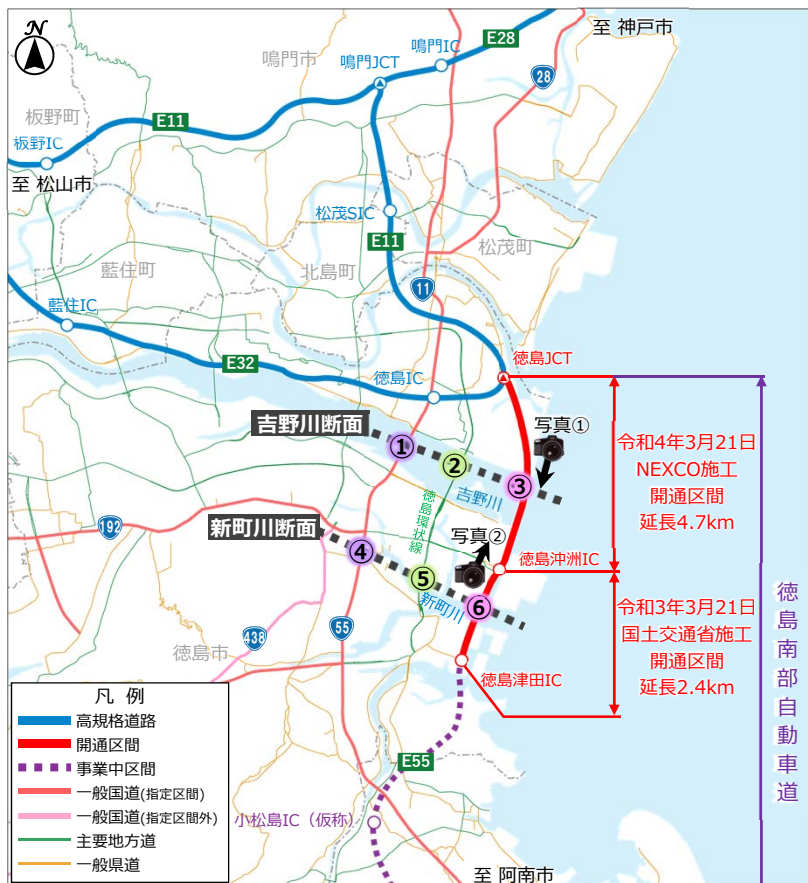
都市計画課 東 照仁（あずま てるひと） TEL：088-621-2563

① 並行する国道11号、徳島環状線の交通分散

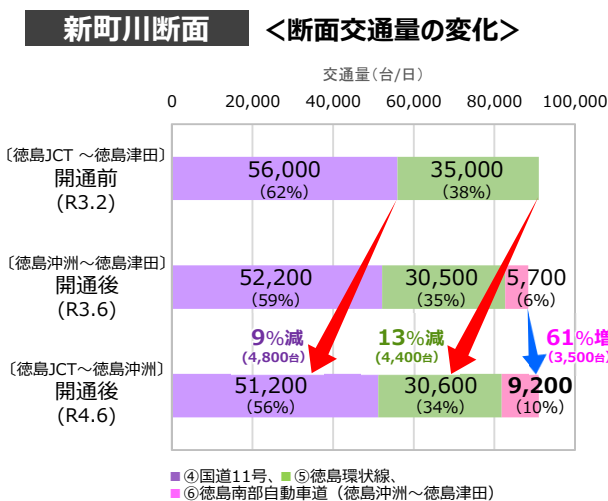
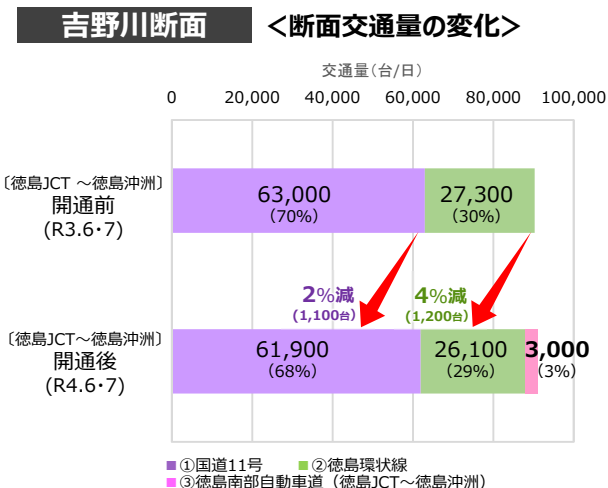
○徳島JCT～徳島沖洲IC間において**3,000台/日**、徳島沖洲IC～徳島津田IC間において**9,200台/日**が利用されています。

○交通分散により、国道11号で**最大9%**、徳島環状線で**最大13%**の**交通量が減少**し、徳島南部自動車道の交通量が**61%増加**しました。

▼徳島南部自動車道の利用により、渡河断面の交通量が分散



▼断面交通量の変化



▼開通区間の交通状況

写真① 徳島本線料金所周辺



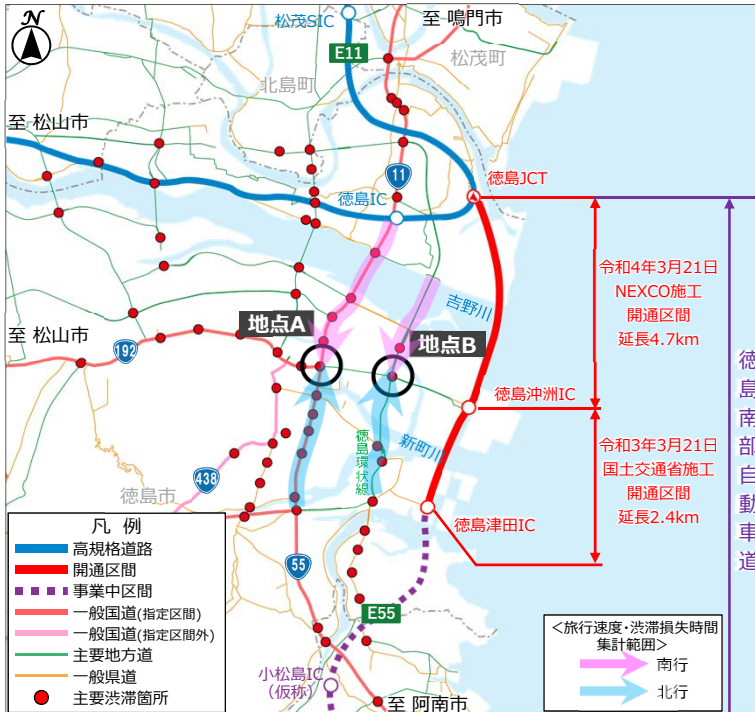
写真② 徳島沖洲IC周辺



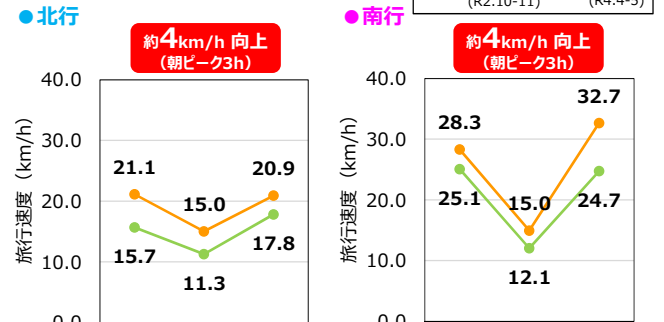
②混雑時間帯の旅行速度の向上及び渋滞損失時間の減少

- 並行する道路の旅行速度が向上し、渋滞損失時間が2～5割減少しています。
- 道路利用者も「走行がスムーズになった。渋滞が減った。」と効果を実感しています。

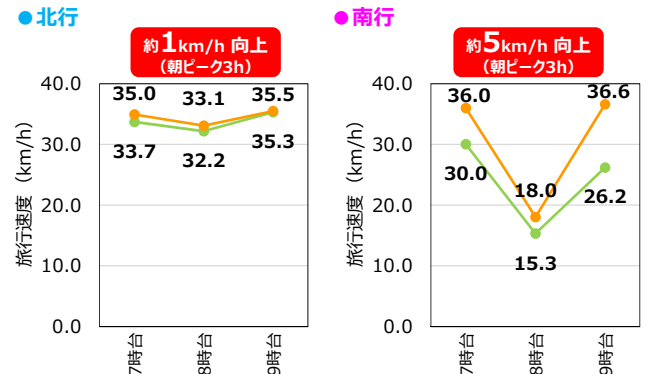
▼並行する国道等の渋滞が緩和され、日々の移動が楽に



＜徳島本町交差点 地点A に向かう平均旅行速度＞

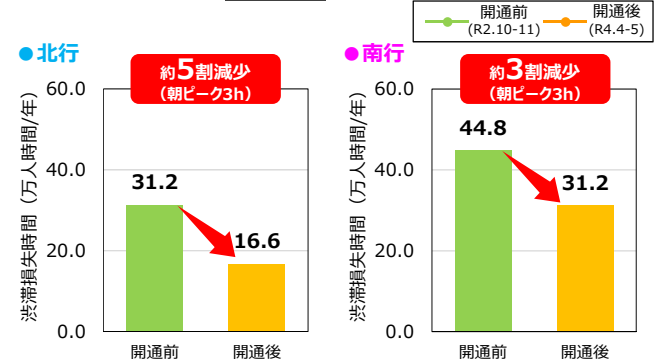


＜安宅二丁目交差点 地点B に向かう平均旅行速度＞

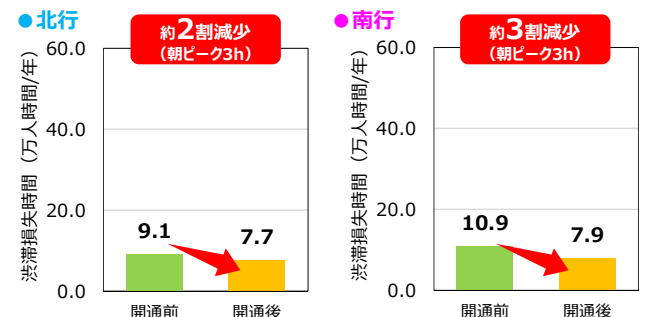


資料)ETC2.0プローブデータ[平日17:00～10:00
開通前(徳島JCT～徳島津田):R2.10～11、開通後(徳島JCT～徳島沖洲):R4.4～5

＜徳島本町交差点 地点A に向かう渋滞損失時間＞



＜安宅二丁目交差点 地点B に向かう渋滞損失時間＞

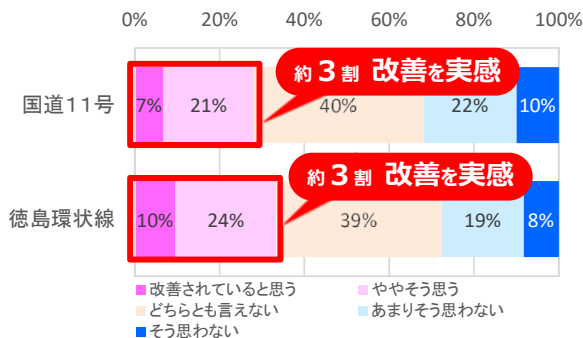


資料)ETC2.0プローブデータ[平日17:00～10:00
開通前(徳島JCT～徳島津田):R2.10～11
開通後(徳島JCT～徳島沖洲):R4.4～5
交通量調査結果7:00～10:00
開通前(徳島JCT～徳島津田):R3.2.25
開通後(徳島JCT～徳島沖洲):R4.6.23

の渋滞損失時間
基準旅行時間
自由走行時の所要時間
渋滞等により失われた時間
基準旅行時間
損失時間
実際の所要時間
渋滞損失時間=(実際の所要時間-すいている時の所要時間)
×交通量×乗車人員×365日

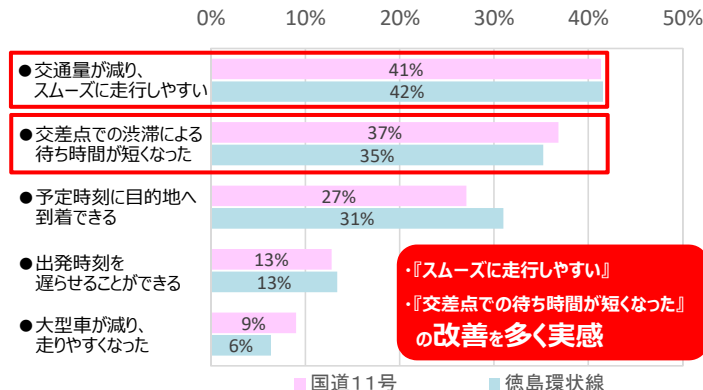
【道路利用者の声】(webアンケート)

＜周辺道路の道路交通の改善状況＞



資料)Webモニタアンケート調査 (R4.6)
・国道11号(吉野川大橋南交差点～徳島市かちどき橋)を利用した方:473名の回答
・徳島環状線(阿波しらす大橋～新浜本町二丁目交差点)を利用した方:425名の回答

＜改善を実感した内容＞



資料)Webモニタアンケート調査 (R4.6)
・国道11号が改善*されたと回答した方:133名による複数回答
・徳島環状線が改善*されたと回答した方:142名による複数回答 ※「改善されていると思う」「ややそう思う」

③臨海産業拠点へのアクセス向上・企業立地の促進

- 徳島県マリンピア沖洲産業団地の企業では、**約6割**が徳島南部自動車道へ交通転換。
- 鳴門ICまでの所要時間が半減し**、運搬時間短縮・定時性向上等の効果を実感しています
- “徳島小松島港・津田地区企業用地”では、14区画全てで分譲・申し込みがあり、今後**新たな地域経済拠点としての発展**が期待されています。

▼臨海産業拠点へのアクセス向上し、ドライバーへの負担が軽減

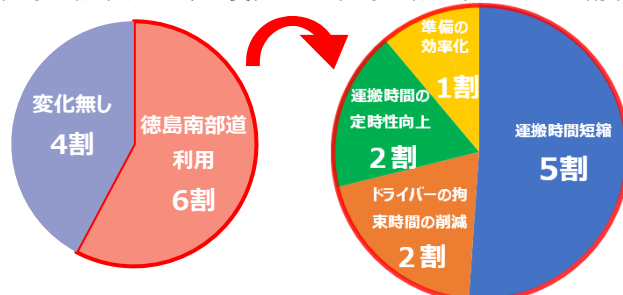
〈徳島南部道開通前後における大型車の物流経路〉



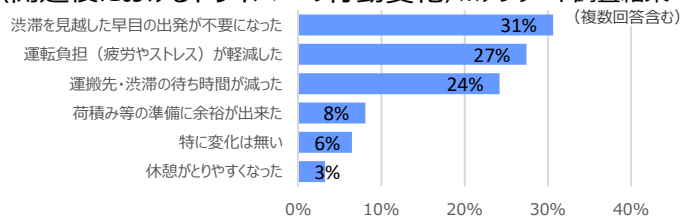
①徳島県マリンピア沖洲産業団地

〈立地する企業が感じた効果〉※アンケート調査結果

〈徳島南部道開通後の経路変化〉 〈徳島南部道を利用して感じた効果〉



〈開通後におけるドライバーの行動変化〉※アンケート調査結果



資料) 徳島県マリンピア沖洲産業団地アンケート調査 (R4.7)
・徳島県マリンピア沖洲産業団地で事業している企業130社: 45社の回答

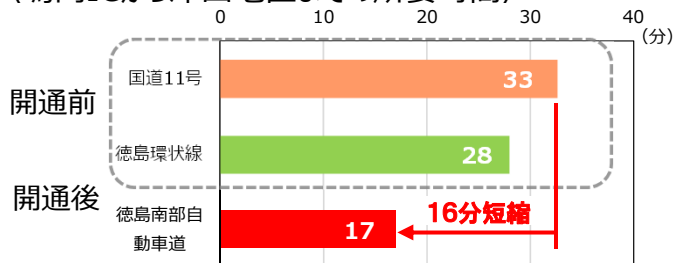
沖洲地区の企業

- ・県外へのアクセスが良いためマリンピア沖洲へ進出しました。
- ・徳島南部道の開通により**渋滞もなくスムーズに配送でき**、津田等以南への**運行時間の軽減**にもつながっています。
- ・県南地域への更なるアクセス向上のため、早期全線開通を期待しています。



②徳島小松島港・津田地区企業用地

〈鳴門ICから津田地区までの所要時間〉



※資料) 所要時間は、ETC2.0プローブデータ[平日]開通前: R2.10~11の平均値
高速道路区間についてはNEXCO西日本「高速料金・ルート検索」の所要時間を採用

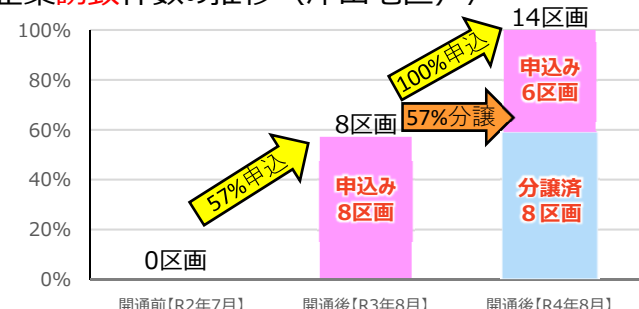
津田地区の企業

- ・本州へのアクセス等の利便性向上を考慮し、津田地区への進出を決めました。
- ・徳島南部道開通によって、**運搬時間の短縮や運搬時の定時性**も確保され、県外出張や県外顧客来訪の際における利便性の向上にも期待しています。



資料) R4.6 ヒアリング調査結果

〈企業誘致件数の推移 (津田地区)〉(全14区画)



開通前[R2年7月] 開通後[R3年8月] 開通後[R4年8月]
(徳島沖洲~徳島津田) (徳島JCT~徳島沖洲)
資料) 徳島県HP (徳島小松島港・津田地区企業用地のご案内)

徳島県企業支援課

- ・コロナ禍で需要が高まる物流関連施設の立地だけでなく、**製造業の製品出荷量の上昇に伴う工場の新増設も期待され**、物流環境向上による企業立地促進など、長期的効果が得られると考えております。



資料) R4.7 ヒアリング調査結果

④ 関西方面等の市場への所要時間の短縮・定時性の向上

○ 関西方面等の市場への**速達性・定時性向上**が地域ブランド品の価値向上につながり、一次産業の活性化に貢献しており、今後の徳島南部自動車道の**延伸が期待**されています。

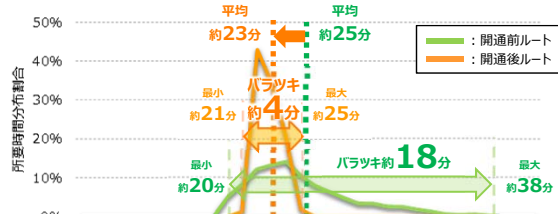
▼ 地域ブランド品の価値向上に貢献



▼ 所要時間の変化

(大野交差点～鳴門IC)

バラツキが
18分⇒4分に縮小し、
定時性が向上



資料) ETC2.0プローブデータ[平日]

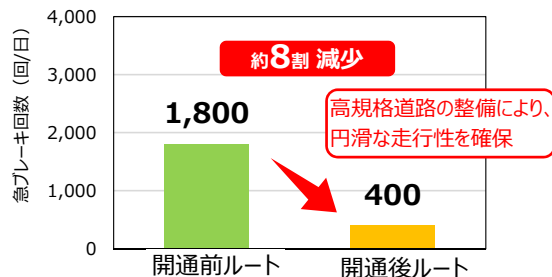
開通前(徳島JCT～徳島津田): R2.10～11、開通後(徳島JCT～徳島沖洲): R4.4～5

・上下位の異常値を除いたデータを基に整理

・平均所要時間は、車両ごとの所要時間の単純平均で算出

▼ 急ブレーキ発生回数の変化

(大野交差点～鳴門IC)



資料) ETC2.0プローブデータ[平日]

開通前(徳島JCT～徳島津田): R2.10～11、開通後(徳島JCT～徳島沖洲): R4.4～5

・急ブレーキ: 前後加速度(-0.3G以下)

農業関係者

- ・「さくらもいちご」は贈答品として扱われ、運搬中の揺れによる荷痛みが発生しないように丁寧な梱包を行っています。
- ・出荷先(大阪・東京)へは、揺れの少ない高速道路を利用するため助かっています。



漁業関係者

- ・南部地域の漁業協同組合では、300t/年程度の“はも”の水揚量がある。
- ・特に新鮮な“はも”は、できるだけ早く京阪神へ運搬するために、徳島市内の混雑を避けて徳島津田ICから高速道路を利用している。
- ・徳島南部自動車道が延伸されれば、運搬時間の短縮で販路拡大が見込める。



南部地域の物流企業

- ・徳島南部自動車道が延伸されることで、ドライバーの拘束時間が削減されるため、2024年に時間外労働の上限規制※が適用されることを踏まえると効果を期待できる。
- ・運行時間のバラツキも無くなることで、運行管理がしやすくなると思うので早く繋がってほしい。

※働き方改革関連法により、時間外労働時間の上限規制が年間960時間になる等が適用となる。



資料) R4.7 ヒアリング調査結果

⑤災害時の緊急輸送路・避難場所の確保

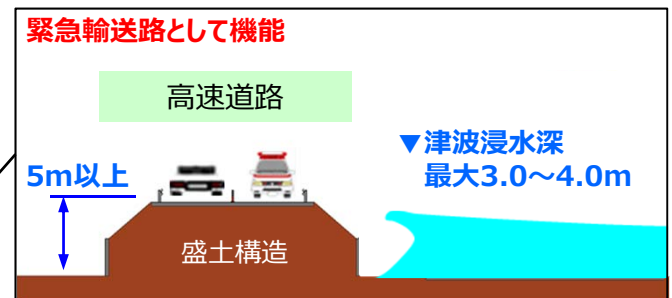
- 緊急時の救助活動を行うための拠点港として指定されている重要港湾（徳島小松島港）へ津波の影響を受けない高速道路ネットワークが確保されました。
- また、新たに津波一時避難場所を3箇所整備し、市の緊急避難場所として指定され、地域住民の災害に対する安心感が向上しています。

▼津波の影響を受けない高速道路ネットワークの確保

〈徳島県東部の津波浸水想定範囲〉



〈高速道路と津波浸水イメージ〉



徳島県 とくしまゼロ作戦課

- ・盛土構造のため、津波に対する防波堤となり被害範囲が減少するものと考えています。
- ・災害に強い高速道路ができることで、より確実な「広域的な救命・救援活動」「救援物資の供給」が期待できます。



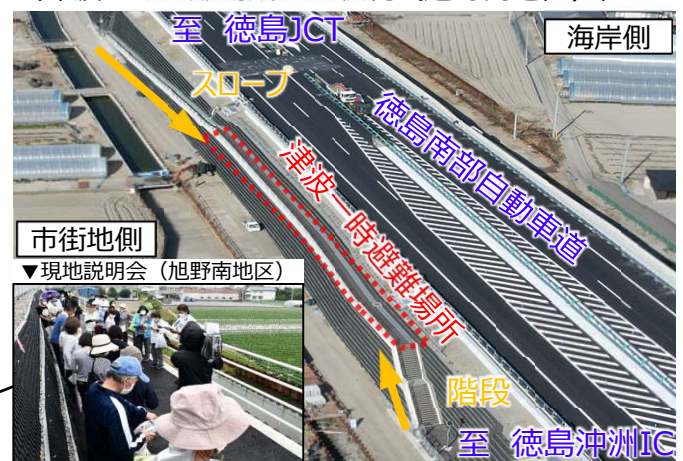
資料）R4.7 ヒアリング調査結果

▼地域住民の災害に対する安心感の向上

〈高速道路沿線部における津波避難困難地域
及び津波一時避難場所整備箇所〉



〈津波一時避難場所整備状況（旭野南地区）〉



徳島市 危機管理課

- ・地域住民から「避難場所が整備され今は安心して」という声をいただきました。
- ・地域の自主防災組織と連携した津波避難訓練を実施し、南海トラフ地震に備えた活動を継続しながら、地域防災力の向上を図っていきたくと考えています。



資料）R4.7 ヒアリング調査結果